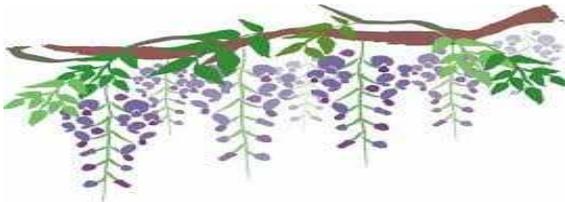


茨南だより

3S 察知
誠意
スピード感
No.2 2022.5.25

教育目標実現を目指して

県南教育事務所長
小松崎 龍太郎

校庭の木々が新緑に染まり初夏の装いが感じられる中、5月10日(火)より所課長による学校訪問を始めさせていただきました。校内の施設・設備や授業中の教室を参観させていただくと、学校経営の基本構想であるグランドデザインに基づいて教育活動や授業が展開され、管理職による関わりと校内組織における先生方同士の協働が円滑に行われ、教育目標の実現を目指して教職員が一丸となった体制が伝わってきます。

訪問では、新型コロナウイルス感染症の感染者数や重症者数の状況をふまえて、「まもなく修学旅行に行きます。」「今年度は地域との交流を再開する方向です。」等、これからの教育活動の見通しの話がありました。県南教育事務所管内では、既に修学旅行を実施した学校もあります。学習指導要領の実施とコロナ禍における対応で教育課程を見直し、感染症対策とその共通理解を図ったり、活動方法を工夫したりして、必要な教育活動の実施に向け学校が生き生きと動き出しているのを感じます。

これまでに、学習指導要領の着実な実施のために教育課程を見直しいただいておりますが、今年度についても、「教わるから自ら学ぶへ」「管理から自己決定へ」「指導から自走への支援へ」を念頭に、「自校の教育目標実現のための効果的な手段になっているか」「手段が目的になっていないか」という視点でさらに見直しを進め、教職員の働き方を含めて改革を推進していただけると幸いです。

人事課

★★★信頼され 笑顔あふれる学校づくりのために★★★



学校概要や加配計画書等の作成・提出につきまして、ご協力をいただきありがとうございました。勤務年数・勤続年数、歴任学校・小中特交流等の記載内容について、各先生方ご自身で確認をお願いします。なお、7月1日以降の教員免許状の扱いについては、文部科学省ホームページでご確認いただけます。

子育てをされている教職員の方は、育児部分休業、育児時間休暇、育児参加休暇等に関する休業・休業等の制度をまとめた「仕事、子育て両立支援ガイドブック」(令和3年9月茨城県教育委員会)を、ご一読いただき、適切な活用と円滑な申請となるようお願いいたします。

4月27日(水)より、熱中症警戒アラート及び暑さ指数の情報発信が開始されました。熱中症事故の発生を未然防止するためにも、「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」(令和3年5月環境省・文部科学省)等の各種資料を参考にし、本年度の新組織に対応した危機管理マニュアルの見直し・改善をお願いします。また、万一の事故・災害等発生時において、危機管理マニュアル等に基づく組織的かつ迅速・的確な行動を全教職員がとれるよう、日頃からの実践的な訓練の実施をお願いします。

なお、訓練計画の作成に当たり、8つの具体的な研修・訓練事例が掲載された「学校安全推進のための教職員向け研修・訓練実践事例集」(令和3年6月文部科学省)をよろしければご活用ください。



6月は、扶養手当や児童手当を受給している職員に現況確認を行う時期です。事務職員から認定状況に応じた所得関係書類等の提出依頼及びヒアリングによる確認がありますので、ご協力をお願いします。

なお、この時期だけでなく、状況が変わりそうな時は随時、事務職員と連絡をとるように心がけてください。所得限度額を超える給与・年金の受給、被扶養者の就職等の事実を把握することで、誤った手当の支給を未然に防ぎ、後日返納等の処理をなくすことができます。

事務職員の皆様におかれましては、認定状況の変更があった場合は、速やかに認定取消等の手続を行い、その結果に基づいた電算報告をお願いします。また、今年度も引き続き現況確認の結果報告をお願いします。詳しくは、後日文書にて依頼いたしますのでよろしくお願いいたします。

学校教育課

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

学習指導要領が変わり、新しい指導法や評価及びコロナ対策等で忙しい中、各校においては、学校改善プランの作成を通して行事の精選や各種指導計画の変更など、多岐にわたって今年度の計画の見直しを進めていることと思います。そして、1人1台端末を使った授業づくりにも、慣れてきた時期かと思えます。

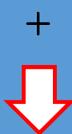
各学校におかれましては、急激に変化する時代にどう対応していくかが求められています。中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」(答申)にあるように、2020年代を通じて実現を目指す新しい時代を見据えて授業の在り方を考えておくことは、指導計画の作成や活動の具体を考えると役に立つかと思えます。答申の副題に「個別最適な学びと協働的な学びの実現」とあり、次のように説明されています。

「個別最適な学び」

ICTを最大限に活用しながら多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する

「協働的な学び」

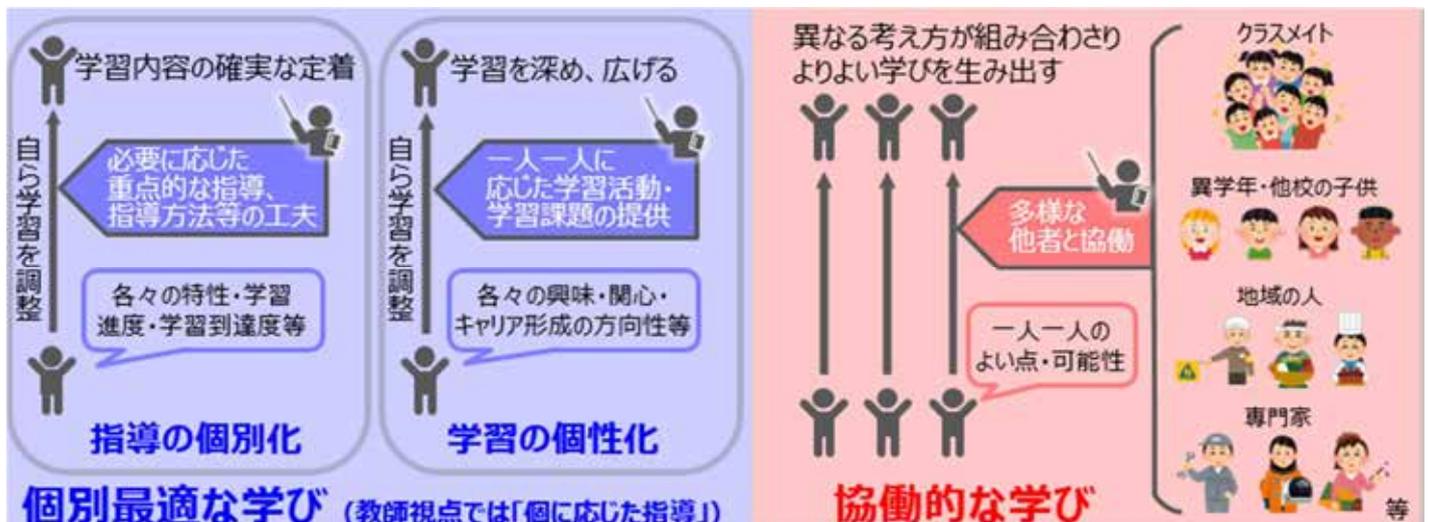
子供たちの多様な個性を最大限に生かす



一人一人の多様性に応じながら他者との対話・協働を通して、自律的な学習者を育てる

以下の資料は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実(イメージ)の図です。全ての子供たちの可能性を引き出す手立てとして、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていただきたいと思います。

今後、この紙面でもブラッシュアップ研修等のモデル校の授業を紹介してまいります。



「(参考)『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実(イメージ)」文部科学省HPより一部抜粋